

認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 114号 (R3.1.30)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 2021年も早や30日、月末となりました。年末から新型コロナウイルス感染症の感染拡大が認められ、私自身休みなく仕事をしています。東京都などには非常事態宣言が出され、私の住む宮崎県も県独自の緊急事態宣言が出され、外出の自粛や夜8時以降の飲食店の閉店、非常事態宣言の出された県との往来自粛、成人式の際など多くの人が集まる宴会の自粛など要請しています。

皆様はどのような新年を迎えられたでしょうか？

ザンビアの辺地医療を支援する会 (ORMZ) も2012年7月 (法人認可は9月) に法人を設立し、いよいよ10年の節目を迎えようとしています。とはいえ、昨年は世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ザンビアでの活動はもちろん、日本からの渡航も制限され、大変な一年でした。

さて、2021年最初のORMZニュースでは、まずは昨年の活動経過をご報告しますと共に、現地での新型コロナウイルス感染症の状況などをお伝えします。

新型コロナウイルス感染症の状況次第では、2021年の活動の大きな制約が予想されますが、なんとか早期の収束を願い、そして当初から巡回診療を実施しているルアノ地区でのヘルスポスト (簡易診療所) の設置をめざし、山元先生はじめ現地スタッフと取り組みを進める予定です。

引き続き、さらなるご支援をよろしくお願ひします。

会の経過報告・活動報告等

・現在、2020事業年(1月～12月)の活動のまとめ、決算等を行っています。詳しくは次回のニュースでお知らせします。2020年一年間の主な活動状況は以下のとおりです。

・1月25日「とちぎメディカルセンターしもつが」で開催された第7回学術集会にて、特別講演実施

・2月3日に理事会を、2月16日に通常総会を開催し、2019事業年活動報告、決算、2020事業年活動計画案、予算案等について協議し、原案通り承認されました。なお4月1日から2年間、これまでの役員が再任され、理事の互選により日高が理事長を、山元香代子先生が副理事長を引き続き継続して本会の会務、活動を担っていくこととなりました。

・3月上旬、ザンビアにおいても、海外からの入国者に2週間の自宅隔離が命じられるようになり、中旬の感染者確認を経て、5月末までの飛行機が全てキャンセル、山元先生の4月からの渡航ができなくなりました。

・このような状況を受け、スタッフの感染防止や、巡回診療を行うことでその地域に感染を広げる懸念もあることなどから、3月をもって一時巡回診療の停止へ。併せて、4月、5月に予定していたCHW研修 (後期分) も延期することとしました。

・現地の手持ち資金等で可能な限り薬等を購入し、巡回診療を行う各地区のCHWにそれを預け、一時活動停止中の間のマラリア等への検査と投薬を行う手配。またスタッフ等の給与も5月分まで前渡ししました。



・1月に山元香代子先生が共同通信様の取材を受けていたのですが、その時の様子が各地の新聞で記事として掲載されました。

- 3月8日：大分合同新聞、3月11日：徳島新聞、
- 3月14日：山形新聞、3月14日：熊本日日新聞
- 3月15日：茨城新聞、3月27日：山陽新聞、
- 3月28日：神戸新聞、3月28日：京都新聞



・5月16日(土)には、以前から支援を頂いています四日市東ロータリークラブ25周年記念式典にお招きを受けていたのですが、コロナの影響で残念ながら中止となりましたが、当法人へ多額のご寄附を頂きました

間隔をあけて並ぶ：赤い線

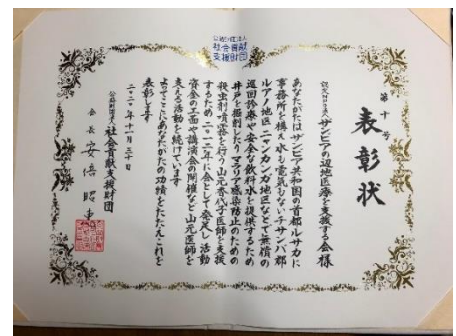
・6月9日、Makoto氏からザンビアのコロナウイルス感染症の影響の報告を受けました。①今のところ、ザンビアでの日常生活は正常に戻っている

②企業や事業所も活動を再開 ③エドガー・ルング大統領も人々に対し、生活を続ける以外に選択肢はないと示すと共に、Covid-19感染症が収束するまでに時間がかかる可能性があることを認める ④そのため、すべての予防策(例：公共の場所でのマスク着用、頻繁な手洗い、アルコールなど手指消毒スプレーの使用や、少なくとも1m以上の社会的距離を維持する)を継続することで、「ニューノーマル」に進む必要がある



・9月5日、例年 ORMZ の活動支援チャリティーコンサートを開催してくれている、高校の同級生の黒木君が、彼の地元、東京都福生市で規模を縮小して今年もチャリティーコンサートを開催

・9月7日「社会貢献支援財団」から受賞決定の通知。11月30日(月)、帝国ホテル東京にて表彰式典が開催されるとのことでしたが、感染状況拡大のため参加取りやめ



・11月7日、山元先生がザンビアへ出立 (12月帰国)

ドバイまでの飛行機では乗客は普段の1/3から1/4で3人席に一人。雑誌の類は一切置いてなく、乗務員は全員、防護服、マスク、フェイスシールド、手袋着用で、乗客全員にマスク、手袋、消毒液の入った箱を配布。その後は、マスクの着用など何度かアナウンスあり。

一方、ルサカ行きの飛行機に乗るための待合室は大変な混雑。搭乗すると、ほぼ8~9割座席は埋まり、結構な状況。ルサカの空港に到着時コロナ陰性証明書の提示をし、体温を測定後に入国審査。いつもと同じ混雑状況で流れはいつもと同じ。

・ザンビアにて ①運転手もお手伝いさんも元気 ②車3台も無事で、事務所もきれいに片付いていた。③彼らにはこれまでどおり週2日出勤で、移動も事務所の車を使うよう指示。④家賃などを払い、必要な物品を購入すると共に、7か月分のレシート等を整理し、帳簿をつける。⑤CHWに十分な薬剤を届けることができなかったため、早速薬剤を購入、11月13日ルアノ・サンダラ・リタに薬剤を届け、11月17日にはニャンカンガに届ける。⑥来年の3月ごろまでは薬剤の配布を継続する手配を行う。

ザンビアの新型コロナウイルス感染症等の状況

感染者数の推移等	3月26日	感染者	3名		
	4月23日	感染者	74名		
	5月25日	感染者	920名	死亡者	7名
	6月8日	感染者	1,200名	死亡者	10名
	7月17日	感染者	2,283名	死亡者	82名
	9月4日	感染者	12,381名	死亡者	290名
	10月16日	感染者	15,616名	死亡者	344名
	11月20日	感染者	16,697名	死亡者	350名
	12月18日	感染者	18,322名	死亡者	367名
	2021年1月29日	感染者	44,592名	死亡者	627名

*在ザンビア日本大使館情報：ンガンドゥ財務大臣は、政府は2021年に予想される新型コロナウイルスの経済への影響を緩和すべく、財政・金融救済措置を組み合わせる策を講じている旨述べた。

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2021事業年（事業年度は1月から12月）が始まりました。賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をお願いします。
- ・当法人は認定NPO法人（2020年1月から5年間の認定更新を受けています）であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com）までご連絡ください。

- ★郵ちょ銀行からの振替
口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
- ★他の金融機関からの送金
郵ちょ銀行 口座記号：01720-9 、口座番号：0126351
加入者名 ： NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

◎郵ちょ銀行からの通知書にカタカナ氏名のみで住所の記載の無い方がおられます。

◎寄付受領証明書送付のため通信欄に住所の記載、もしくは電話番号の記載をお願いします。

*2021年が皆様に取りまして良い年とな

りますようお願い申し上げます。

*今年も多くの皆様のご支援を心からお

願い申し上げます。